

減災のための目標（案）について

平成29年6月1日
秋田県秋田地域振興局

減災のための目標（案）

5年間で達成すべき目標(案)

秋田地域の県管理河川は、山間部を流下する河川特有の流下型の氾濫と平野部における拡散型の氾濫といった河川特性を持ち、近年頻発している集中豪雨により急激な水位上昇を生ずる恐れがあり、迅速な防災行動を求められることが想定される。今後発生しうる大規模水害から人命を守るため、

『迅速かつ確実な避難を可能にする地域防災力の向上』

を目標とする。

※大規模水害・・・想定しうる最大規模降雨に伴う洪水氾濫による被害

目標達成のための取組（案）

■ハード対策

○流下能力の確保に向けた改修の推進と維持管理の強化

- ・計画的な河川改修の実施
- ・州ざらいの継続実施

○避難行動・水防活動に資する基盤等の管理・更新

- ・水位計、雨量計および情報収集・提供機器の更新・改良等

■ソフト対策

○水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保

（○：主な検討、作業主体）

項 目	県	市町村	気象台
・県と市町村のホットラインの構築	○	○	○
・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの策定	○	○	○
・水位計、雨量計の配置見直しや増設	○		
・水位周知河川の追加	○		
・最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域の公表	○		
・新たな浸水想定に基づくハザードマップの作成		○	
・水位周知河川以外の河川の浸水実績の把握及び周知	○	○	
・実況雨量に基づく簡易水位予測ツールの活用	○	○	
・水害リスクの高い箇所の合同巡視	○	○	
・要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた支援	○	○	
・防災教育（出前講座、自主防災組織に対する研修、避難訓練）	○	○	
・避難情報伝達手段の検討、整備		○	

秋田地域県管理河川減災対策協議会のスケジュール(案)

